

# 生物物理学セミナー案内 Online

魚類ソーシャルビジョンの分子神経基盤の解明を目指して

講演者：竹内秀明教授

東北大学大学院生命科学研究科

日時：令和3年7月8日（木）午前10：30～

参加歓迎：参加希望者は7日（水）正午までに

「オンラインセミナー参加希望」という件名のメールを  
森宛（[mori\(atmark\)upr.biophys.kyoto-u.ac.jp](mailto:mori(atmark)upr.biophys.kyoto-u.ac.jp)）に送信してください。  
（atmark）を@に入れ替えてください。

7日夕刻までにZoom情報を送ります。



## 講演者紹介

私は大学院時代から動物の社会行動に関わる神経機構に興味があり、ミツバチやメダカを用いて「社会的コンピテンス（社会に適応する能力）」の解明に取り組んできました。近年の行動生態学の発展によって、魚類（グッピーやシクリッド）も個体認知を介した高度な社会適応能力を持つことが分かってきました。私は魚類の社会適応能力の分子・神経的基盤を解明し、ヒトを含む哺乳類と比較することで、その進化的起源をたどることができると考え、2005年から分子遺伝学のモデル生物である小型魚類（メダカ）を材料に研究を行なっています。研究内容の詳細については、研究室ホームページをご覧ください。

=====

異性の認知方法として、マウスやショウジョウバエは嗅覚を使いますが、メダカは視覚を使っており、竹内先生はユニークで興味深い研究「Comparative Social Neuroscience」を展開されています（森）。

*Seminar*

生物科学専攻生物物理学系 / 京都大学  
大学物理学研究科

森 和俊

753-4067